

令和4年度千種区区政運営方針（あじさいプラン2022）取組結果について

1 事業数

64事業

2 評価基準

4段階による自己評価（区独自基準）

S	目標を上回った
A	ほぼ目標どおり
B	目標を下回った
C	未実施

3 評価結果

めざすまちの姿	事業数	自己評価			
		S	A	B	C
1 地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち	12	3	6	3	0
2 安心して子育てができるまち	11	2	7	2	0
3 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち	12	2	8	2	0
4 魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち	9	2	4	3	0
5 快適な都市環境とを感じるまち	10	0	8	2	0
信頼される区役所づくり	10	2	7	1	0
計	64	11	40	13	0

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業を中止又は縮小しています

令和4年度千種区政運営方針（あじさいプラン2022）取組結果

＜評価について＞

- S・・・目標を上回った
- A・・・ほぼ目標どおり
- B・・・目標を下回った
- C・・・未実施

めざすまちの姿1 地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち（12事業）

	取り組み名	取組結果	評価
(1)	指定避難所開設・運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所開設・運営の要素を取り入れた訓練(13回) 12学区で実施（千種・千石・内山・上野・高見・田代・東山・見付・星ヶ丘・自由ヶ丘・富士見台・千代田橋）。感染症の流行により訓練の実施を見送った学区もあり、全15学区実施の目標には達しなかった 	B
(2)	地区防災カルテを活用した地域防災活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会10学区以上実施を目標としたが、地区防災カルテ等を活用し12学区で計19回の防災の集いや訓練、リーダー講習等を開催し目標を上回った 	S
(3)	風水害・地震に備えた防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、レアウトや訓練の方法、参加者の範囲などを工夫しつつ、次の訓練を実施した。 ・総合水防訓練 令和4年5月29日（日）小原橋緑地にて実施 ・総合防災訓練 令和4年9月4日（日）千種小学校にて実施 ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 令和5年3月16日（木）名古屋市立大学北千種キャンパスにて、関係機関の他、学区住民や企業等を交えて実施。なお、災害時医療救護所訓練は、全市的に中止 	A
(4)	防災診断書を活用した防災提案・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・防災診断実施 新規93自主防災組織（目標：新規97自主防災組織） 実施率98.5%（平成30年4月～ 全328組織中323組織が実施） ・学区連絡協議会及び自主防災訓練等の機会を捉え、自主防災会長や区政協力委員に対して防災診断を実施 	A
(5)	消防団員確保の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・千種区消防団連合会15消防団の消防団員数は、令和5年3月31日現在で251名（男性：214名、女性：37名）であり、375名の定員に対する充足率は令和3年度末からマイナス2.2%（8名減）の66.9%（目標は前年比4%増（15名増）） 	B
(6)	戸別訪問等による家具等転倒防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・消防職員等による戸別訪問を実施 3学区（上野、高見、田代） ・家具等の転倒防止対策を実施している区民の割合 65.4%（令和4年度千種区区民アンケート調査結果）目標の75%には到達しなかった 	B
(7)	救命講習等	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織への応急手当講習 600名 ・大学等学生への応急手当講習 221名 ・定期救命講習 19名 受講者合計 840名となり目標の受講者400名を上回った 	S
(8)	ちくさ子ども防災キャンプ【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症を考慮し、オンライン型イベントに組み替えて実施。 【ライブ配信型イベント】 対象：小学校4～6年生とその保護者（20組40名参加） ・10月15日（土）にZoom生配信にて、体験型イベントを開催。 ・危険発見クイズ、語り部講演会、災害時の食事体験、簡易トイレ体験、安否確認体験を実施。参加者アンケートでは、満足度100%を記録。 【オンデマンド型イベント】 対象：小学校4～6年生（12名参加） ・ウェブページにて、小学校4～6年生にオススメのコンテンツを紹介。 ・「防災とアウトドア」動画を制作し、オススメコンテンツとしてウェブ掲載。オススメコンテンツを視聴すると解ける、プレゼント付き防災クイズを実施。 	A

取り組み名		取組結果	評価
(9)	わかものを対象とした防災講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 新規講座の開拓や、動画や被災経験談を取り入れ参加者の興味を引くなど、工夫しながら実施した。 5月28日(土) 稲山女学園大学連携協定による防災講座 36名 7月20日(水) 名古屋商業高校防災講話(シェアアウト訓練含む) 全学年(900名程度) 9月13日(火) 名経大市邨高校防災委員への防災講話 (78名) 9月21日(水) 愛工大名電高校防災チームとの交流・防災講話 (3名) 11月8日(火) 名経大市邨高校防災講座 1年生対象(400名程度) 11月15日(火) 名経大市邨高校防災講座 2年生対象(400名程度) 1月24日(火) 千種中防災講座 1年生対象(21名) 	A
(10)	防犯活動の推進【拡充】	<p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 学区・警察・金融機関等と協働した防犯活動を15区学区で実施 高齢者等を対象とした特殊詐欺被害防止講話の実施(35回) 特殊詐欺の加害者となりうる若者層を対象とした啓発活動の実施 年金支給日に振り込み詐欺防止キャンペーンを実施(6回) 毎月26日(ツロツクの日)における自転車盗難防止キャンペーンの実施(12回) 強化月間の5月、11月には区内高校や大学でキャンペーンを実施 こあらっちを活用した防犯啓発活動の実施 青色回転灯装備車による防犯パトロールの実施(90回) 地域、警察との連携によるAIを活用した特殊詐欺防止体験訓練の実施 ポスター掲出、区ウェブサイト等、様々な媒体を活用した広報活動を実施(29施設) 	A
(11)	交通安全啓発活動の推進	<p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子どもを対象とした啓発活動を15学区で実施 高校での交通安全啓発活動を実施(4校) 自動車利用者(対外国人も含む)への啓発活動を自転車安全利用促進強調月間に実施(9回) 市民運動期間等における交通安全啓発活動の実施(26回) 商業施設等での交通安全啓発活動の実施(53回) 小学校や幼稚園、保育園での交通安全講話・教室の実施(42回) ポスター掲出、区ウェブサイト等、様々な媒体を活用した広報活動を実施(29施設) 	S
(12)	地域コミュニティの活性化	<p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 転入者。未加入世帯向け加入促進(通年で実施) 広報なごやに町内会・自治会への取り次ぎ案内の記事を掲載 ウェブサイトの充実として「withコロナ新しい生活様式を取り入れた地域活動」チラシを掲載 コロナ禍における地域活動の現状や地域要望等をヒアリング(13学区) コミュニティ交流会の開催 	A

めざすまちの姿2 安心して子育てができるまち（11事業）

取組み名	取組結果	評価
(1) エンゼル訪問（赤ちゃん訪問） 【千種区から全市展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問 主任児童委員を中心に対象世帯を訪問 ・R4年4月（R3.11依頼分）～R4.3月末（R4.10依頼分） 対象（転入）622(27)件中、440(21)件訪問/ 70.7% ※未訪問182件中152件は、新型コロナにより対面の訪問を控え、資料をポストイングすることで対応（ポストイングを含めると95.49%） ・未訪問家庭の状況確認 未訪問182件については、保健センターにおける3か月健診等の受診状況や転居を確認 ・主任児童委員連絡会開催（8月17日、2月16日） ・配布物の外国語翻訳（2件/内山学区、富士見台学区） 	B
(2) 子育てサロンの支援 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンは全15学区で実施 ・子育てネットワークちくさとの連携 ネットワークちくさによる支援 3学区実施（高見、春岡、宮根） ※新型コロナにより1学区中止（千代田橋） ・補助制度の運用 補助金交付 7団体（大和、高見、春岡、見付、星ヶ丘、自由ヶ丘、自由ヶ丘女性会） ・5学区（高見、春岡、田代、自由ヶ丘、富士見台）に保育案内人が出張し、保育園案内を実施 ・主任児童委員連絡会を開催し情報共有（8月17日、2月16日） 	A
(3) こあらっち子育て応援講座 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・千種児童館・758キッズステーション共催事業 <イライラしない子育て講座>開催日程：8月24日 ※新型コロナウィルスの感染状況等を鑑み、会場開催を中止しZoomによるオンライン開催のみに変更 講師：青少年養育支援センター陽気会 杉江健二氏 参加人数：19名 役に立ったと思う参加者の割合：100%（アンケート回収数13名） <たたかないどならない子育て連続講座>開催日程：11月全5回 講師：Office MOTOHIRO代表 競朗子氏 参加：11名（託児：6名） 役に立ったと思う参加者の割合：100%（アンケート回収数11名） 会場：千種児童館 	A
(4) 子育てネットワーク事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場の開催 子育て広場 9月3日に開催（計99名参加） 会場：区役所講堂 /主催：千種区保育園連絡会 ミニ子育て広場 6回開催 会場：東スポーツセンター、千種児童館、千種スポーツセンター、千種文化小劇場、香流橋地域センター/主催：ネットワークちくさ ※第1回はコロナのため中止をしたが、第2回以降は新型コロナウィルス感染対策を徹底して開催 ・子育て支援機関の連携 子育て支援ネットワーク連絡会を開催（5月19日/社協、エリア支援保育所、生涯学習センター、主任児童委員、幼稚園、保育園、保健センター、区役所等） ・「子育て支援情報がいど」の作成 6500部 ・保育案内人の出張保育園案内 9回実施 （子育てサロン5回、ミニ子育て広場3回、地域子育て支援拠点1回） 	B
(5) 外国人の子育て支援プロジェクト 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て応援ガイド」の配布 新たな配布場所：区内の医療機関（小児科39か所） ・TV通訳機能が付いたタブレット端末の活用 活用実績：10件（子育て支援と児童虐待に係る相談及び家庭訪問での活用）/満足度100% ・子育てサロンチラシの外国語翻訳（2件/内山学区、富士見台学区） ・「R4年度版子育て支援情報がいど」の翻訳（英語） 	S

取り組み名		取組結果	評価
(6)	児童虐待の防止 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催 なごやこどもサポート千種区代表者会議（年1回）、実務者会議（月1回）、サポートチーム会議（4回）を開催 ・広報・啓発活動 児童虐待防止推進月間の5月と11月を中心に、全職員のオレンジリボン着用、椋山女学園大学学生と連携したPRコーナーの設置や椋山女学園大学及び愛知淑徳大学学生から啓発の標語を募集（186点応募） ・児童虐待防止啓発品を作成（こあらっちデオドラントチャーム） ・関係機関連絡会議において児童虐待防止に関する講演を実施（11/22） ・保護者を対象とした子育て講習会こあらっち子育て応援講座を開催「イライラしない子育て」（8月24日オンライン開催 19名参加） 「たたかないどならない子育て」（11月全5回連続講座 11名参加） 	A
(7)	思春期セミナー	<p>16校実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と保健センターとの共催：13校（小学校11校・中学校2校） ・学校のみで実施：3校（小学校2校・中学校1校） ・中止：2校（小学校2校） 	A
(8)	子育て家庭の交流支援 親子クッキング教室	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日時・参加人数 令和4年7月28日・4組（保護者4名、子供5名） 令和4年8月5日・4組（保護者4名、子供6名） ・実施場所 今池ガスビル4階 東邦ガス料理教室 ・参加者の満足度 100% 	S
(9)	乳幼児期の食事づくりの支援（子育て応援レシピ集の作成） 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・レシピ集vol.3の作成・発行（発行部数：2,000部） 椋山女学園大学学生と保健センター管理栄養士でレシピの考案、試作。 ・レシピ集vol.1、vol.2の配布 3か月児健診、児童館、エリア支援保育所、ミニ子育て広場等にて配布 ・レシピカードの配布 ・動画の作成について検討 今後作成するレシピや動画をより良いものにするため、「離乳食レシピ」についてのアンケートをLogoフォームを活用して実施。 動画のワーキンググループで仕様や方向性について検討。（1月実施） 	A
(10)	青少年の健全育成 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1、2年生に「子ども安心ドリル」を配布（7月 配布数2,880枚） ・啓発ポスター用図画を募集し、作成したポスターを掲示（応募44作品 小中学校等29か所掲示） ・子ども安心週間こあらっちぬり絵の募集・展示（7月・8月 応募306枚） ・子どもいけばな体験教室を満席で開催。（7月 10名） ・区内施設等でのキャンペーン（7月 300人配布） ・商業施設による啓発アナウンス・ポスター掲示（7月17店舗・12月18店舗） ・広報車によるパトロール活動（11回） ・広報車による啓発（7月6回、12月7回） ・三角柱を使用した区全課室カウンターでの来庁者向け広報（7月・12月） ・青少年区民大会（12月 87名） ・子ども（主に小学生以上）が健やかに成長できるような取り組みが進んでいると思う区民の割合が75.1% 	A
(11)	高校生・大学生を対象とした薬物乱用防止啓発活動 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会、顧問とともに啓発方法、啓発グッズにつき検討（6月・8月） ・文化祭のステージにおいて、演劇部による演劇の上演、保健センターによる講演、生徒会によるクイズを実施（9月） ・生徒会のデザインしたクリアフォルダ2000枚を啓発グッズとして作成し、文化祭の場で配布。 ・クリアフォルダを授業時間（ホームルーム）において全生徒等配布（10月）するとともに、生徒会から各学年へ文化祭の報告を放送にて行い、薬物乱用防止の啓発を実施。 	A

めがすまの姿3 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち（12事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」の普及・啓発 【拡充】 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に講演会の実施(63名)や5会場にて講座等を実施した(72名) ・チラシ配架及び利用説明動画を公開 ・医院、診療所でのポスター掲示(274施設) ・区内郵便局でのチラシ配架、ポスター掲示 ・目標配付数1,500部に対し、1464部の配付をした。 	A
(2)	高齢者の見守り活動 【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時安心情報シート「こあらっち安心シート」に関し、救急隊にヒアリングを行うとともに、救急隊の活用状況や利用者、関係者からの意見等を踏まえ、千種区高齢者見守りネットワーク連絡協議会において、よりよいあり方について検討した結果、敬老手帳を活用しその周知・啓発を進めることとした。 ・高齢者等を対象とした「なごやか収集」を実施する環境事業所にも高齢者見守りネットワーク連絡協議会へ参画することを依頼した。 	A
(3)	高齢者の仲間づくり支援 【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・ペタンク大会など5種目のスポーツ大会を開催(延529名) ・さわやか研修旅行(39名) ・趣味の作品展(来場者350名) ・文化健康講演会や演芸大会を開催 ・高齢者向けパンフレット「千種区いきいきガイド」への老人クラブ加入案内の掲載 ・加入促進の記事を広報なごや千種区版に掲載(2月) ・新たに庁内に「高齢者仲間づくりコーナー」を設置し、社会活動、生涯学習やスポーツなど、高齢者の仲間づくりに資する情報を提供。 ・高齢者サロンでの老人クラブの情報発信(3回) 	A
(4)	認知症サポーターの育成・活動支援 【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の実施(591名 延9,643名) ・認知症予防体操インストラクターによる体操実演(26回 429名) ・認知症サポーターによる認知症カフェの運営(2会場) ・認知症カフェ開設準備講座への参加勧奨等(4回) 	B
(5)	認知症に対する正しい理解と知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座開催(4回 196名) ・専門職研修会(オンライン)(5回 154名) ・認知症市民シンポジウム(オンライン同時開催)(参加者60名) ・愛知淑徳大学と共催で認知症教室を開催(2回 30名) ・5月に若い世代へ向け「千種区★名東区認知症について学ぼうIN星が丘テラス」を開催(194組327名参加) 	B
(6)	千種つるかめセミナー	<p>〈つるクラス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル講演会(総論編)(5月 14名)(満足度100%) ・認知症講演会(6月 19名)(満足度100%) ・フレイル講演会(栄養編)(7月 22名)(満足度100%) ・フレイル講演会(運動編)(11月 16名)(満足度100%) ・ロコモ予防講演会(1月 17名)(満足度93%) ・フレイル講演会(口腔編)(3月 13名)(満足度100%) 	S
		<p>〈かめクラス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かめクッキング(6月 4名)(満足度100%) ・男性クッキング(初級編)(7月 1名)(満足度100%) ・かめクッキング(9月 3名)(満足度100%) ・男性クッキング(初級編)(10月 1名)(満足度100%) ・かめクッキング(11月 2名)(満足度100%) ・男性クッキング(初級編)(2月 1名)(満足度100%) 	S
(7)	ママのためのビューティー講座	<p>全4コース(各2回実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コース 5月19日(3名)(満足度100%) 6月30日(2名)(満足度100%) ・2コース 8月10日(1名)(満足度100%) 9月16日(1名)(満足度100%) ・3コース 11月8日(2名)(満足度100%) 12月13日(2名)(満足度100%) ・4コース 2月1日(1名)(満足度100%) 3月14日 参加者なし 	S

取り組み名		取組結果	評価
(8)	歯の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の一日健康センター（令和4年6月16日） ・保育園を対象に、リモートで歯科講習と健康相談を実施 ・保健センターでの健康教室等（49回 372名） ・幼稚園、保育園での保健指導（5回 231名） ・幼稚園、保育園のフッ化物洗口（10園） ・8020表彰（対象者に個別に交付）（対象者217名） ・歯と口の健康週間ポスター表彰（対象者に個別に交付）（対象者2名） 	A
(9)	啓発事業の実施及びヘルプマークの普及【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・障害への理解を深めるための啓発事業「千種区障がい福祉フェスタ2022」を開催（10月 350名） ・「障害者差別解消推進条例の理解推進を図るためのガイドブック」を窓口及び各種イベントで配布（5月ポッチャ大会、10月千種区障がい福祉フェスタ2022、11月・12月イオンタウン千種での授産製品販売イベント） ・「ヘルプマーク」、「ヘルプカード」の周知場所 区公式ウェブサイト、区役所庁舎内、地下鉄池下駅、千種区障がい福祉フェスタ2022、広報なごや千種区版に掲載（2月） ・「ヘルプマーク」の配布場所の拡大（東部療育センター） 	A
(10)	障害のある人への情報発信と防災研修	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議や各部会の会議等を開催（運営会議は毎月、部会は適宜） ・事業所マップ、ガイドブックを窓口及び事業所で配布し、障害者自立支援協議会のホームページでも公開 ・障害者手帳（身体、愛護、精神）の新規交付時に事業所マップ、ガイドブックを配布 ・防災研修の実施（事業所BCP作成のための勉強会 計3回）、知的障害者及び家族向けの本人防災研修を千種区手をつなぐ育成会と共催（8月） 	A
(11)	授産製品の販売促進【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・あじさいひろばで授産製品の常設展示や弁当・パンの販売（12月まで） ・販売カタログ、販売事業所マップを窓口及び関係機関に配布 ・「千種区障がい福祉フェスタ2022」において、授産製品の販売事業所の紹介（10月） ・イオン店舗において、授産製品の販売を実施（6月、10月、11月） ・東山動植物園の秋まつりで授産製品販売イベントを実施（11月） 	A
(12)	発達障害家族のつどい【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、発達障害の診断を受けた方のご家族を対象に、家族同士の交流、発達障害者への接し方の講習、福祉制度などの情報提供を行う交流会を開催（参加者延べ83人） 	A

めざまちの姿4 魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち（9事業）

No.	取り組み名	取組結果	評価
(1)	千種区名所案内 ～新旧共存！ good balance～	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回千種区名所案内スタンプ帳、ポスター、チラシ作成 ・第2回千種区名所案内スタンプラリーを実施 （重ね捺しスタンプ実施数 76冊） ・電子スタンプアクセス件数 3,012件 ・第3回フォトコンテスト実施 （応募写真数 1,210枚） ・千種区フォトコンテスト「#千種区名所案内特別賞」を実施 （応募写真数 285枚） ・Instagramリーチ数 41,139件（目標 40,000件） 	S
(2)	千種区民まつり	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に区民まつりを開催 当日の人出 約5,000人 YouTube視聴者数 延べ6,868人 ・初の有観客での花火を無事故で実施 ・参加者が安全に退場できるようアンケートは未実施。参加者からの意見は概ね好評 	A
(3)	まちかど発掘事業	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に「お月見どろぼうとまちあるき」実施 （参加人数 28人）※定員を満した。 ・12月に「城山の紅葉を楽しむ～まちの魅力をみつけよう～」実施 （参加人数 120人）※ほぼ定員を満した。 ・11月～12月に「揚輝荘インスタレーション展示とワークショップ」実施 （参加人数 72人） ・上記の事業で参加者数160人を目標にしていたが、220人となった。 	S
(4)	アジサイいっぱい運動 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセン、どんぐりひろば等に約600株を植栽 ・あじさいの写真を募集し、あじさいひろば、星ヶ丘ギャラリー、アピタ千代田橋店で展示(57点、応募者18人) ・「区の花アジサイ」の区民認知度50%を目標にしていたが、区民アンケート結果43.8%となった（昨年比2%増） 	B
(5)	千種区マスコット キャラクター「こあ らっち」の活用 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・「こあらっち」グッズを作成し、各種啓発やPR等に活用 ・区役所で着ぐるみ展示：常時展示 ・着ぐるみの貸出や区のイベント・キャンペーン等への参加（計14件） ・広報なごや千種区版への記事掲載 ・区の各種広報物へのイラスト活用や着ぐるみ出演 ・「こあらっち」の区民認知度50%を目標にしていたが、区民アンケート結果45.2%となった（昨年比3.3%増）。 	B
(6)	区公式ウェブサイト 等の広報ツールを活用 した魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・区公式ウェブサイト更新件数（212件）アクセス件数（775,771件） 前年度比-2.2%（目標10%増） ・「ちくさkeyちゃんねる」の開設（動画14本） ・ちくさボランティアカメラマンによる区の魅力的なスポットや 各種イベント、季節の風景等の写真をFacebookに掲載（85件） ・魅力的なスポットを紹介する千種区魅力PR誌「ちくさんぼ」や 史跡をめぐるパンフレット「千種区史跡散策路」の配布 	B
(7)	文化芸術活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋にいけばな展を開催（春 約250人、秋 約400人） ・6月～9月俳句・川柳コンクールを開催 （俳句部門159句、川柳部門249句、子ども部門481句の応募） ・10月区民美術展に190名が来場 （日本画13点、洋画15点、書34点、工芸・彫刻11点、写真24点の応募） ・コロナ禍に対応した形で全ての文化芸術事業を実施 	A
(8)	生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・一部事業でウェブサイトからの申込受付を導入 ・コロナ禍に対応した形で18のスポーツ事業を実施 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2事業を中止 	A
(9)	区役所と生涯学習セ ンターとの連携によ る生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催講座及び生涯学習センターとの共催により各種講座を実施 ・令和3年度平均満足度（全事業）95.73% 	A

めざすまちの姿5 快適な都市環境と感ずるまち（10事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	クリーンキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・14学区（目標15学区） 1,277人参加 ・区内の小学校、公園を中心に区民やボランティア団体・関係行政機関参加のもと、クリーンウォーキングや啓発活動を実施 	A
(2)	道路・公園・河川の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の修繕や公園の除草清掃などを計画的に行い、安全の確保を最優先とした適切な維持管理を実施 	A
(3)	資源とごみの分別等の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・広報なごや及び区役所1階行政情報モニターに、資源・ごみの分別方法等について毎月掲載 ・区役所において転入者向けのごみ案内所を設置 ・6月11月に分別マナーアップ推進月間の取り組みを実施（広報、集合住宅への啓発物品の配付、戸建て住宅の特別巡回（15学区）） ・大学等に、入学時期における分別ガイドの配架を依頼（8校） ・小学校において出前講座を実施（6月：2校332名） ・環境デーなごや地域行事として、区役所でSDGsに係るパネル展示 	A
(4)	ペットの飼い主マナーの向上【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主マナーパトロール（5回）を実施し、参加者の72.9%が効果があったとアンケートに回答（目標70%） ・千種わんダブルサポーターに149人が宣言（目標100人） ・のら猫の避妊去勢手術券の交付（138件） 	A
(5)	空家の適切な管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数81件、要対応件数58件 ・相談のあった空家のうち、18件が解消済み、2件が一部解消、6件が対応予定 対応済率44.8%（目標70%） ・特定空家のうち、12件が解消、3件が一部解消、2件が対応予定 	B
(6)	空地をきれいにする運動	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、清掃依頼、勧告（19か所）実施 ・除草実施率（新規受付分面積算出）44.8%（目標70%） 	B
(7)	住居の不良堆積物への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は8件で、条例における「不良な状態のおそれあり」8件 ・「不良な状態のおそれあり」のうち8件全て支援により改善 	A
(8)	自然観察会	<ul style="list-style-type: none"> ・5月平和公園里山の家周辺で自然観察会を実施（18人） ・10月平和公園平和堂周辺で自然観察会を実施（14人） 	A
(9)	地域貢献メニューへの参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・愛護会が1団体増加 ・街路灯パートナー等社会貢献は新規契約なし 	A
(10)	花の名所公園の情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・茶屋ヶ坂公園のアジサイ、千種公園のユリの開花時期を千種土木事務所のウェブサイト積極的に発信 	A

信頼される区役所づくり（10事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区区民会議	・11月に区民会議を開催(参加者20人(在住15名 在勤2名 在学3名)・傍聴者1名)	A
(2)	区民意識調査(区民アンケート)	・令和4年度区民アンケートを実施 調査期間:6月24日~7月31日 対象者:区在住の18歳以上の男女2,000人(外国人含む。無作為抽出) 調査項目:千種区のまちの姿について、区役所の広報などについて、千種区の将来像について など(回答数792人(39.6%)) ・アンケート結果を区HPで公表	B
(3)	地域担当制による地域との連携	区役所・保健センターの課室長、地域力推進室職員を地域担当として学区の実施する事業に参加した ・クリーンキャンペーン(13学区) ・学区防災訓練(6学区) ・区政運営方針(あじさいプラン2022)の説明(13学区) ・学区夏祭り・盆踊り(2学区) ・学区夏の安全パトロール(1学区) ・敬老会(3学区) ・学区成人式(10学区)	A
(4)	千種区わかもの会議【拡充】 【千種区独自】	《名古屋商業高等学校》「授産製品の販売促進」 ・3年生の「課題研究」授業内で「わかもの会議」を実施。(4月~11月)(14名の生徒が参加) 提案のあった「東山動植物園での授産製品販売イベント」を開催(11月) 《愛知淑徳大学》「ふるさと納税寄付金の活用方法」 ・ビジネス学部(1年生)講義の「ビジネスプランニング入門」の中で「わかもの会議」を開催(10月~11月)(47名の生徒が参加) 中間発表の内容を関係課に伝えながら意見をもらい、大学生にフィードバックし、実現可能性の高い提案を得られるよう努めた。	S
(5)	わかもの向けの選挙啓発	・選挙出前トークを小学校から大学で実施(5校で計5回、参加者747名) ・千種区わかもの選挙サポーターに新たに5人が登録(現在8名) ・「明るい選挙千種区推進のつどい」開催(11月 33名)	A
(6)	窓口環境の整備【拡充】	・フロア案内体制の最適化に努め、円滑なコミュニケーションを図った ・庁舎案内件数85,973件、記載指導補助件数26,635件、資料案内・提供件数4,099件 ・保険年金課窓口案内件数45,325件、記載補助件数34,796件、保険証等回収件数422件 ・タブレット端末利用件数(外国語対応)(20件) ・福祉コンシェルジュを配置し、窓口案内等を実施 窓口案内件数12,161件、記載補助件数2,089件、相談対応件数80件 ・華道協会の協力により、ロビーに生け花を展示(69瓶) ・結婚お祝いカードの配布(520件) ・おくやみコーナー(7月22日開設) 申請書一括作成者対応件数166件、おくやみ案内のみ対応件数169件、おくやみ以外対応件数128件、受電件数104件	A
(7)	接遇の向上【拡充】	・「接遇・CS向上宣言」を策定、実施 ・区の魅力発見研修の実施(9月 9名) ・11月に、窓口アンケートを実施(満足度96.3%)(目標98.8%) ・10月に、外部講師を招いて接遇研修を実施(3回 参加者 49人)	A
(8)	業務改善	・「すみやか業務改善運動」の各課室の取り組み周知(10月) ・他所属業務体験研修(区独自研修)の実施(11月~12月 10名)	A

取り組み名		取組結果	評価
(9)	多文化共生に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルカムリーフレットを転入者向けに配付開始 ・ 6月より外国人総合案内（外国人コンシェルジュ）を開始 ・ 多文化共生推進庁内会議を3回実施し、「やさしい日本語窓口用語集」を改訂、「やさしい日本語会話例文集」を作成 ・ 11月に日本人住民向けに「やさしい日本語講座」を実施（参加者アンケート満足度100%） ・ 外国人との交流会を実施し、その意見を基に外国人向けに千種区の生活ルール・紹介動画「Life in Chikusaku」を作成し、YouTube「ちくさkeyちゃんねる」や区公式HPで公開（全4回合計40人参加、参加者アンケート満足度100%） 	S
(10)	留学生とつくる「日本の生活ルール紹介動画」 【新規】 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生を中心とした外国人との交流会を実施（9～11月 全4回 計40人） ・ 交流会の内容を基にした動画を作成（12月～3月）（「ごみの分け方・出し方」「国民健康保険のしくみ」「病院のかかり方」「千種区の魅力」） ・ 日本語・英語・中国語・ベトナム語・ネパール語・フィリピン語の6言語 ・ 区公式YouTubeチャンネル「ちくさkeyちゃんねる」で動画公開（3月） 	A